

(様式1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1

施設名

(所管課)

富山県高岡文化ホール

文化振興室文化政策課

2

施設所在地

高岡市中川園町13-1

3

施設設置年度

昭和61

年度

4

設置目的

県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5

施設概要

①建物の構造

鉄筋コンクリート造(地下1階地上4階)

②敷地面積

9,169.01㎡(うち外来駐車場等2,130.10㎡)

③建物面積

7,999.42㎡(地下987.56㎡、1階3,966.44㎡、2階1,705.32㎡、3階1,233.85㎡、R階106.25㎡)

④施設内容

ホール(703名収容)、多目的小ホール(382㎡)、練習室(3室、47㎡×2、136㎡)ギャラリー(185㎡)、展示ホール(2F、3F)、スタジオ(68㎡)、会議室(4室、54㎡×2、108㎡、99㎡)、和室(3室、17.5帖)

⑤開設

昭和61年10月

6

指定管理者

公益財団法人富山県文化振興財団

7

指定期間

3

年

令和6年4月1日

～

令和9年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
96,131	124,898	125,139	133,457	143,565

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
33,163	39,317	36,236	38,053	38,042

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
45,668	45,668	45,668	45,668	45,668

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は、8月に開催した主催事業のアート展に12,466人が入場したこと等により、年間で10,108人増加した。
・施設の利用率は大ホール66%（前年比6^割減）、多目的小ホール77%（前年比8^割増）、スタジオ62%（前年比13^割増）となったほか、その他の施設の利用は概ね前年並みとなった。利用料金収入(38,042千円)も概ね前年並みとなった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・ホール利用者に高度な舞台技術を提供できるよう舞台音響・照明等の技能認定資格を有した職員を配置している。
・平成22年度から高齢者や体の不自由な方のための介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンド資格を有した職員を配置し、接客に当たっている。
・平成18年度から受付窓口でワンストップサービス(コピー、看板・宅配便等の取次ぎサービス)を提供している。
・平成30年度にリニューアルしたチケット販売システム「アーツナビ」を活用し、インターネットでの座席指定を含むチケット購入や最寄りのコンビニ(ファミリーマート)でのチケット代金決済・チケット発券サービスを提供している。
・平成26年度からの利用料金等のクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度から二次元コード決済に対応し、利便性の向上を図っている。
・令和5年度に初めての来館者にも分かりやすいよう大ホールのロビーにトイレのピクトサインを設置した。
・令和6年度に、大・小ホールにおける催事開演前等に利用者が座って待つことができる場所を増やすためにベンチシートを増設した。
・令和7年度から「富山県公共施設予約システム」を活用し、インターネットで施設予約状況の確認及び予約(一部の施設)ができるようになった。
・多目的小ホールの控室に冷蔵庫と電子レンジを設置し、利用者の利便性の向上を図った。
・南側入口に屋外広告スペースを増設し、来館者への情報提供の充実を図った。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・施設利用のキャンセル発生時には、積極的に過去の利用者へ情報を提供する等、利用を働きかけた。
・定期利用者や過去の利用者を対象に毎月の施設利用抽選会を案内するとともに、会館独自の施設併用割引等の利用料金割引プランを広報している。
・令和2年度に県が整備した館内全域の有線LAN環境及びデジタル映像配信機器の利用促進のため、インターネット環境の提供、LANケーブルの貸出を無料で行い、会議室でのWeb会議やホールにおけるリアルタイム配信について利用者に提案、ホームページ等で周知した。
・令和5年度に、利用が伸び悩むギャラリー、展示ホール、和室、スタジオについての利用料金や各種割引サービスを掲載したチラシを作成して館内に設置したほか、過去に利用した又は今後利用が見込まれる企業・団体等へ送付している。
・令和6年度に、会議室等の利用向上策として、SNSによる情報公開ツールを公開しフェイスブック等で告知した。
・令和7年度に、音楽友の会の会員拡大およびチケット販売促進を目的として、SNS(Instagram)広告による情報発信を実施した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	施設利用者：通年(利用時にアンケート用紙を配布)、 事業観覧者：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	施設利用者：183件、事業観覧者：1,562人
結果	施設利用者：満足98% 事業観覧者：91%
結果を踏まえた 改善事項	・アンケート結果から概ね満足されているが、引き続き利用者サービスの向上に努めてもらいたい。 ・第2会議室の椅子について、より快適に利用いただけるよう、背もたれ部分に布カバーを施すなどの補修を行った。

②その他利用者の声を反映させる取組み

高岡文化ホール音楽友の会役員会、ホールサポーターとの情報交換会、各種事業の運営委員との打合せ、文化教室や文化団体の利用者等との交流を通して、施設利用に関する意見の収集に努め施設運営に反映した。

③主な苦情と対応

練習室前廊下へ入る際に階段があり、年配者等には負担がかかる。⇒ 階段横に手すりを設置

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図り、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

高岡地区の文化施設や文化団体等と芸術文化情報の共有や文化事業等の連携を図っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・ホールの舞台機構・音響・照明設備や館内各種設備の自主点検チェックリストを作成し、日常から職員が安全点検を行うとともに、定期的に専門業者による保守点検を実施している。
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、年2回の自衛消防隊による防災訓練を実施している。
・令和6年に発生した能登半島地震以降、主催事業において地震発生時の対応や避難についての案内を掲載したプログラムを配布している。
・令和6年8月1日付けで、高岡市との協定により「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)」に指定され、さらに適切な温度管理及び空間の確保に努めている。
・令和7年5月30日、指定管理者において作成した熱中症への対応フローを職員に周知するなど、熱中症対策の強化を図った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・利用者に安全・安心で快適な施設環境ときめ細かな質の高いサービスを提供するとともに、多様化する利用者ニーズの把握、積極的な情報発信に努め、施設利用の促進に努めてもらいたい。

・開館してから39年以上が経過し老朽化が進んでいる施設設備について、県と連携して今後の改修・修繕に向け効果的・経済的な方法などの情報収集に努めるとともに、故障等により利用者サービスが低下しないよう日常の保守点検や維持管理を適切に行う必要がある。

・県西部地域の芸術文化団体、地元のアーティストとの連携をさらに深め、地域に根差した事業を展開してもらいたい。

・令和7年度は、指定管理者が立ち上げた「とやま文化共創パートナーシップ」のもと、多数の企業の協賛を得た。今後もこの連携関係を維持・拡大し個性豊かな事業を展開してもらいたい。